



例年より早く四国地方は梅雨入りが発表されました。長い長い雨の季節の始まりです。雨が多いこの時期は、部屋で読書がいちばんです。雨降りや水、梅雨、傘などこの季節にぴったりな本もたくさんあります。憂鬱な天気も読書のパワーでしっかりと落ち着いたリラックスタイムに大変身すること間違いなしです！

新着本

『英語に好かれるとっておきの方法』

『転生したらスライムだった件 6／7／8／9巻』

『青空と逃げる』

『八重山おばあのぬちぐすい』

『あと少し、もう少し』

『拝啓、本が売れません』

『約束の力』

『ぼくときみの半径にだけ届く魔法』

『絶景本棚』

『アマツキツネ』

『40m荘』

『騙し絵の牙』

『サウザンドメモリーズ』

『ソードアート・オンライン プログレッシブ 5巻』

『スペック 6／7／8巻』

『包丁さんへるぷみい』

新着本の中から『絶景本棚』を紹介します。

「人の魂、本棚に宿る」と帯に書いてあるように、本棚を見るとその人の「人となり」が分かるような気がします。ひたすら、誰かの本棚を紹介している本です。

フルカラー！

本棚と言いつつ、床に本が積み上げられている部屋。

整然と見やすく美しく並べられた本棚。

縦に並べることができなくなって、本の上にまた本が横積みされた本棚。

一見すると無造作に置かれているようで、持ち主はきっと何かの法則に基づいて置いてあるんだろうな、と思ったりします。

図書室のように本だけがびっしり並んでいるかと思うと、ジャッキーチェンのフィギュアと一緒にあったり、招き猫が置かれていたり、インテリア本としても楽しめます。

難しいことを考えることなく「ふ～ん」「へ～え」と気楽に眺められる一冊です。

ぜひ図書室で手にとってみてくださいね。





読書コラム 6月

皆さんこんにちは、6月に入りじめじめとした日々が続いていますが調子はいかがですか？今月紹介するのは『幸せな人は「お金」と「働く」を知っている』（新井和宏/イースト・プレス）です。私の友人にお金大好きなCさんという方がいます。Cさんとの出会いが、お金に無頓着だった私に変化をもたらしました。お金大好きという、あまり良い印象が持てなかったのですが、Cさんと話すうちに、お金は生活したり癒されたり夢を叶える一つの手段であることが分かりました。Cさんは実家の農業経営を大きくしたいという強い夢を持っています。経営を大きくするには、資金が必要です。そのためにお金を大事にしているということを知り、私はお金に対する考え方を変えようと決心しました。

本書では、お金に関する事だけではなく、働くこと・今の社会のこと・自分にとって幸せが何なのか、様々な視点から物事を見ています。最も印象に残った言葉があります。「働くことを考えることは人生を考えること」人は人生の大半を「働く」ことに費やします。私たちは「お金」を得るために働いています。しかし「お金」のためだけに働くのは、つまらないものです。お金を得るために、自分がやっていて楽しい・やりがいがある・幸せだ、という意識を持って働くことができれば、人生の大半が幸せになります。

私は大学を卒業し、働き始めて3か月目に入りました。教えられる側から教える側となり、分からないことやつまづく事が多いです。しかし、自分が求めている事ややりたい事ができているのは幸せだなと感じています。そう思えるのも、高校時代からずっと「自分は何がしたいのか、どんなことをしたら毎日笑顔でいられるんだろう」と考え続けていたからです。

高校生の皆さんは進路について真剣に向き合う時間がどんどん増えてきます。3年生はこれからが勝負のときになってきますね。大変だと思いますが、今この瞬間に真剣になることで、自分のこれからが豊かになっていくのは確実です。気負わず楽しみながら、自分が何をすれば幸せなのか考えてみましょう。そうすれば今日も明日も数年後も、笑顔で満ち溢れる自分がそこにいます。

(頼本)

6月の人とモノ

ヘレン・アダムス・ケラー (Helen Adams Keller) 1800. 6. 27~1968. 6. 1

1歳すぎに熱病にかかって目と耳が不自由になり、話すこともできなくなりました。家庭教師のサリバン先生と出会って障害を乗り越え、世界各地で社会福祉事業を行い「奇跡の聖女」と呼ばれました。来日したこともあります。

太宰治 1909. 6. 19~1948. 6. 13 (桜桃忌 6. 19)

青森県出身の作家。『走れメロス』『斜陽』『人間失格』などの作品で知られています。1948年6月13日に入水自殺をし、19日の誕生日に遺体が発見されたのでこの日を「桜桃忌」とし、毎年三鷹市の禅林寺で法要が行われています。

川端康成 1899. 6. 14~1972. 4. 16 (康成忌)

大阪生まれ。東京帝国大学在学中に書いた小説が認められ、後に「文藝時代」を創刊します。新感覚派と呼ばれ、繊細な感性で描いた作品は、高い評価を受けて日本人初のノーベル文学賞を受賞。代表作は『伊豆の踊子』『雪国』など。

気象記念日 6. 1

1875年、東京に日本初の気象台が設立され、1日3回の定時気象観測と地震観測を開始したことから中央気象台(現・気象庁)がこの日を「気象記念日」と制定。また、1884年のこの日には、日本で最初の天気予報が出されました。

